柏崎体育

發行所柏崎体育団
（柏崎市役所内）
發行編集人今井哲夫
印刷人小田信夫
定價一部10円
（毎月1回発行）

祈發展
日本リクリエーション協會専務理事
大島鎌吉
大阪毎日新聞社運動部
村社講平

★北陸社會体育・レクリエーション大會

第二回準備委員會開催

過般結成を見た北陸社會体育研究発表會及北陸レクリエーション大會準備委員會の事務局で作成中であつた(1)柏崎社會体育、レクリエーション推進基本方針、(2)北陸大會行事案(3)同豫算案成り、去る二月二十日特別企画委員會で研討、二十六日午後三時より全体準備委員會に上程され、審議の後これを決定した。

大會行事案は、七月上旬四日間の日程により、研究會、講習會、實地指導會、見學の他、体育と映画の夕、レクリエーションの夕、野外ダンス、パーテー、民踊大會、演劇、民踊、音樂、スクエア、ダンス、コンクール等豪華多彩な繪巻を繰り廣げることになつてゐる。

柏崎体育推進基本方針

(一)構想、理念

1、近代社會の特性
産業革命のもたらしたもの―勞働分化、機械化、不自然的環境、貧富の隔絶
2、現代日本の状況
經濟的窮迫―人口過大、失業者群、物資缺乏
人心の不健全化―虚無頽廢、利那的、官能的、享樂的、卑屈
非科學的生活―旧習への執着、マンネリズム、非衛生的非保健的、非能率的、無計劃性
殘存する原始的生産様式―農業、家内的小工業等
3、体育的視野に寫る姿
(イ)、不均整な肉体、病弱短命、身体機能の障碍及低下―榮養及び労働の影響伝染病、保健衛生処置の缺除、体育との隔離
(ロ)、享樂的精神　社會環境の窮迫、はき違いた民主主義、自由主義の影響
鍛錬精神の放棄
斯くては人間も社會も強く健全にはならない。
4、体育の目標
人間生命を保持発展し、時代の要求に應ずる剛健素朴にして活動性ある身体（人間）の育成
5、体育実践の原理
(イ)、對象、全国(市)民の一生
(ロ)、範疇、優生、保健、衛生を緯とし、積極的な活動性に訴える健康活動機能増進鍛錬を經とする人間の全生活
(ハ)、構成、時代性、国土性、民俗性に立脚して構成される体育
以上の觀點より
(イ)、各個人の実情に即応し
(ロ)、科學性に立脚し
(ハ)、日常化する
(ニ)、積極的活動性に訴える
(ホ)然して社會的人間性に立つ体育実践を原理とする

(二)体育實踐の方策

1、基本方針
(イ)　啓蒙
(ロ)　組織化
(ハ)　普及化
(ニ)　剛健化を第一義とする
2、基礎調査
(イ)　死亡率、死亡原因調査より缺陥傾向特徴を発見する
(ロ)　自然環境調査より自然環境の身体に及ぼす影響を考察する
(ハ)　労働状況調査より労働及び労働環境の身体に及ぼす影響を剔決する
(ニ)栄養状況調査より榮養の缺除が身体に及ぼす影響を究明する
(ホ)　身体機能調査より各人の缺陥を発見する
(ヘ)　其の他
3、研究
調査は主として醫学的、社會學的觀察を以て行ふ
(イ)身体発育に重大な影響をもつ遺傳因子に關係する優生問題
○、姙婦乳幼児の体育
(ハ)　人間一生の発育過程に應ずる体育
(ニ)家庭体育方法
(ホ)　労働の補償としての体育
(ヘ)　自然環境に對する防護としての体育
(ト)　農村の体育
(チ)　体育に影響する社會的、經濟的、文化的諸條件の究明
(リ)　其の他
4、普及
(イ)　啓蒙―新聞報道、機關紙、パンフレット、研究會、講演講習會、展覧示會等
ロ　組織化、全市民を組織化する
A　柏崎体育振興審議會
健民指導員組織
体操普及員組織
社會体育指導者組織を新設養成する
B　施設委員會（グラウンド、プール）
柏崎体育団
柏崎高、中、小体連等既設組織を強化する
C　地域、工場の組織化を重視する
D　青年団、婦人會、公民館、労働組合、農民組合、市民保協議會、工場会社官公衙、學校を友交協力團体として提携する

(三)當面の實踐内容

1、施設
(イ)プール補修、水源確保
ロ鯨波運動場整備
(ハ)鯨波球技場設置
(ニ)海水浴場の施設―飛込塔、ブランコ、鐵棒、ウオーター、シュート滑り台
ホ子供遊園地
(ヘ)米山登山道路開發
(ト)スキー場の開拓
(チ)篭球、排球、庭球等市民球技場の中心地設置
(リ)健康風呂施設等
(ヌ)學校体育施設の整備强化と民間への開放
2、指導鍊養
(イ)体操
A市民保健体操―各所に朝起体操会を開く
B勤労者体操―工場事業場勤労者の疲労治癒、匡正强化の体操
Cスポーツ体操―スポーツマンの準備整理、匡正强化の体操
D浴場体操、お座敷体操
E農民体操
(ロ)スポーツ、遊戯
(ハ)[illegible]クリエーション健康[illegible]て健全なもの
(ニ)其の他

(四)結語

体育は生活の中に、生活と共にある。他から強制されるものではなく、自ら求めて行ふものでなければならぬ。各人の自覚こそ体育活動の基底となるものである。各人が自己の身体の現状を認知し、理知と努力とにより自己の向上の爲に試みるところに体育の第一歩がある。然して体育の道が保護援助指導される健民政策の中に体育の効果は一段と增進される。

体育が政治の重要な部分としてとり上げられなければならぬ。

◎附記

如上實踐方策と内容の實現は全市民と市當局の絶大な理解援助の下に於いてのみ達せられるものであることを勿論である。

レクリエーションに就て

眞のレクリエーションの振興は無見識、無批判な官能的逸樂への奬勵によつてではなく、現実の認識と明日への活力再生産の自覚喚起によつてなされるものである。

労働に驅使された反動が、そして又窮迫の社会に於ける絶望が、自由主義思潮と興味本位主義に便乘して、眞のらレクリエーションが蝕ばまれることを警戒しなければならぬ。レクリエーションは新しい種目や方法ではなく、行ふ者の態度によるものである。

依つて当市レクリエーション振興のための基本方針は当分次の如くとする。

一、健康的なレクリエーションの奬勵―無意識的に行ふにせよ、その結果が健康に好影響を与ふるもの。
二、瞬間的な参加ではなく生活の中にとけこませる、
三、華かな高度のものよりも、地味に、より多くの者の参加を目指す。
四、過度を愼しむ
熱中よりも抑制―自制することに留意。

以上

大會行事案は次號揭載

論説

米山地區の体育的開發

柏崎市の面積は五六・五八平方粁で、市民の總數は三八、一四二人ある。この人達のためにレクリエーション地区を設けることは、都市計劃の上からは勿論のこと、体育的に見ても極めて重要な事である。

都市計劃の常識としては全地域の一五―二〇%をこの部面に割くこととされているが、是とは別に、慰安、体養、保健のために必要とされる所謂レクリエーション地区は、人によつて多くの説がある。一寸調べただけでも、少きは一人當り一〇平方米から、大きは四二〇平方米までであつて、必ずしも學問的な根據はない様である。今假に田村剛氏の主張する一人二五〇平方米が中間的のものであるので、これを採ると、柏崎市の場合、九、五平方粁を必要とする。

この地区は、ハイキング登山、水泳、釣魚、スキー、きのこ狩、神社佛閣詣で等所謂レクリエーション運動を行う所であるので、自然天然の造化に配するに人工施設をもつてせねばならない。この様な立場で適當な土地を物色するならば、鯨波の一部を含んだ、廣い意味の、米山地区より外はないと考える。上米山村が柏崎市に合併された事の喜ぶべき點は、市が理想的なレクリエーション地区を得た事であろうと思う。

米山（標高九九三米）を中心とするこの地区の開発は市民に課せられた大きな問題である。天下の名山米山の峯はスキーに絶好であり、この沢は香氣あるとうきを産し、この谷々の川は山魚、岩魚、鱒が棲息する。峻峯の日本海に沒する所は奇勝福浦八景であり、夏よく、春秋は更によく、冬また格別の樂しみがある。未だ原始的なこの地区が、凡ゆる角度から檢討されて、身心の鍊磨に、氣分の轉換に、職場の慰安に、明日への歡喜のために開発されるならば、實に偉大なる市民の財産となり、國民の厚生に寄與する所が大きいであろうと思う。

こゝに於て強く考えることは、單に、見物のためではなく、市民の身心を更に強くする方にこの地区の施策を向はせてこそ意義があるということである。米山登山競走を初めとして、凡ゆる行事にこの地区を結びつけよう、谷根川、払川、吉尾川の谷をつめて頂上に登るコースをつけよう、赤岩山より東稜に出るキレットに岩場を作ろう。小杉のスキー場を開拓しよう。鯨波から谷根へかけてのハイキングコースを作ろう、この様にしてこそ、はじめてすこし進んだ海岸方面の施設とタイアップして、大きなレクリエーション地区が出來るのである。

由來觀光と稱するものが兎角酒と女の方だけであるのに對し、健康と体力の釀す、明るく強く朗かな地区を現出させたいものである、この立場からいうと、レクリエーションと言う語さえ現代では享樂的意味に解され勝であるから、我々はこれとはつきり区別をつけるため、この地區を健民地と呼び、この開發を体育的開発と呼びたいのである。この体育的開發こそ、我々体育人の努力目標であると思う、近代都市と民主行政の進歩とは人間の生命力の强化たる市民の健康、体力の向上を重要施策とする。柏崎市も、近接町村を含めてこの健民地を作り、これを活用することによつて、近代都市への條件を具えたいと考える。我々体育人は、この米山地區の体育開發こそ市民のために其の使命の一つとしなければならないと信じ、同憂の士に訴える次第である。

水泳運動振興のために

吉田勝治

柏崎がスポーツの都とうたわれ、長水路プールを持ち、海岸に惠れてゐるにもかかわらず、水泳界の名手を過去に於いて出してゐないのは、もとより著名選手を輩出させることが眞の目的ではないが、惠まれた環境に訓れすぎて、天惠を活用してゐない感がある。水泳は夏期の運動として最もよいものである。体を柔軟にさせ、内臓諸機関を強くし、皮膚を鍛錬する絶好の全身運動である。もつと市民が積極的に海に親しみ、若者はプールで記録を高めることに熱心であつて欲しいと思ふ。

競泳では柏商を筆頭に、柏高、柏工の選手が練習を積んでゐるが、もつと飛躍の余地があるし、柏農、女學校等もやつてもらひたいと思ふ。縣下女子高校水泳大會等は一寸やればすぐ縣下の覇者になることが出來る水泳が一層普及される爲には新制中學校がもつと水泳に力を入れ興味と力の基礎をこの時代に作つておく必要がある。

プールの水が悪くなるのは非衛生的で悩みの種だが充分な水源の確保は緊要事であると思ふ。短水路プールでもよいが市の東部にも一つ欲しい。財政多端の折今年は困難であるなら二年計画、三年計畫でもよい、計画の具体化を計りたい。

私たちはこの様に惠まれた柏崎の水泳を一層振興する念願を以て、水泳連盟、水泳協會を一体として强化し、米山水泳連盟と改組した。米山水泳連盟とは米山で水泳をやるといふのではなく、米山を仰ぐ柏崎、刈羽、中頸城にまで範囲を擴げた地域の人達の會としたいと言ふ意味で名付けたものである。

本連盟では有力な指導スタッフで、海水浴場に於ける指導にも力を入れる心算であり、又曾て日本水泳界の名選手、佐田德平氏や武村淸氏等[illegible]を受けた様に、一流の[illegible]ャを招聘したいと[illegible]崎海岸を非常に愛されてゐる日本泳法の大家上野德太郎氏を迎えて夏先きには是非指導者講習會を実現させたい。

毎年行われる遠泳大會や市民水泳大會が、陸上市民運動會の様に全市民が参加して、その健康をほこり、大いに意気の擧がる日の來ることを期待する。（筆者は米山水泳連盟會長）

蔭の聲　表の聲

去る二月二十日夜ラジオで「アジア大會派遣選手に何を望むか」といふ街頭錄音が放送された。

敗戰日本も今は雄々しく立上らんとしている姿を見せて來い、堂々と競技して來い、ルールを遵守する新生日本の眞面目さを發揮して來い、競技するからには堂々と勝つて來い、競技場に於いてだけでなく立派な日本人としてのマナーを示して來いと言ひ、斯くの如き意義ある參加に政府が半額にも及ばぬ遠征費しか出さぬのはけしからぬ、民間でもつと眞劍に應援すべきである等々。派遣選手萬才が期せずして唱和され、出席した浅野陸連理事長や鈴木選手、杉村選手を感激させ、あたかも街頭の激勵會となつた様子が伝えられた。

立直りつゝあるとは申せ未だに重い暗い蔭の多い環境の中にある人達の、然し明るい、淸新な興奮を求めている国民の聲として聽こう。

選手諸君は彼地に於いて立派に奮闘され、アジア諸国の人達と友交を深めて來てもらいたいと心から祈る

然し乍ら、飜つて想ふに國民の一部しか樂しいスポーツに參加出來ないでいる。多くの人達はスポーツどころか最低限の体育生活も確保していない。斯る狀態に於いて、國際的なレベルに追ひついて行くためには一部選手の特別な強化策も已むを得ないものとな[illegible]いる。

スポーツが全民衆のものとなり、オリムピック第一主義をとらないでいても、後續選手の輩出でオリムピック一等国となつている米国には及びもつかなくとも、せめて北欧スウヱーデンやフインランドの如く、一流のスポーツの香高く、文化國、体育國となりたいものである。

昭和26年度　行事豫定

水泳の部

八月上旬	市民水上大會
七月、九月に各一回	連盟記錄會柏崎、柿崎兩プール
六月、七月	高校强化合宿柿崎プール
九月上旬	中学校水上大會柏崎又は柿崎
期日未定	上越地區大會

尚日本選手權豫選兼県選手權大會、縣下高校選拔大會、縣下高校大會、國体豫選等にも參加する。これらの會場も柏崎で受ける用意あり

陸上競技の部

四月一五日	長距離道路競走兼県駅伝豫選
四月二二日	リレー大會兼特殊目大會
五月中旬	県第一線選手强化合宿
五日二〇日	上越高校大會（豫定）
五月二六、二七日	北陸インターカレッヂ（豫定）
六月一〇日	縣選手權（豫定）
六月一六、一七日	縣下高校大會
六月二四日	縣下一般對學生
七月十五日	三県對抗
八月一日	郡市靑年体育大會（豫定）
九月三〇日	高田對柏崎
一〇月二一日	上越驛伝豫選
一一月上旬	団体對抗（以上柏崎にて開催分のみ）

投書歓迎

投書は柏崎、刈羽郡地方の体育に就き建設的な批判、主張を[illegible]とし、字數[illegible]宛先柏崎[illegible]つて御[illegible]

新潟縣体育史に現れる柏崎の地位と功績

島掛藤次郎記

明治大正時代の体育スポーツが歐米の思想と技術を吸収することに精一杯で消化せず所謂模倣体育、飜譯体育であつたスペンサーの進化論やスタロッチの開発主義、実用主義に立つ知徳体の並進説は体育の重要性を紹介したが當時の縣民には未知のものがあり切実なものでなかつた。當時リーランドが日本に來て指導した体育スポーツが學校体育の主流をなし本縣にも普及した。この時代の体育が純正な体育レールに乗つて伸展したならば如何に國民は幸福であつたか今更ら乍ら残念である。其の後森文相の体育思想が兵式体操を重視し精神的効果を狙つたのが軍事体育に傾いた原因である様に思われる。ヘルバルトの學説が精神的形成を強調した影響を受け純正体育は輕視の風潮が生じた。スエーデン体操と學校スポーツが命脈を保つて居つた低調と混亂より脱した妙藥は第五回のオリンピックの鐘であつた。日本に初めて体育協会が生れた。

新潟縣が全國に先んじて県下十三万の青年を代表する町村の指導者が自主的に青年体育振興を自覺し、先覺者洲崎副團長を中心として雄々しく蹶起したのが大正五年の県下青年大會の總會であつた。青年こそ次代を双肩に荷ふ使命を痛感して民主的に体育機構を整備した大正九年県下青年体育大會を弥彦に開催した。一方県体育の中核をなす県体育協會は青年國運動と一致協力大正十五年創設された當時副會長洲崎義郎氏自らリーダーとなり、官僚的天降り式組織を一蹴して眞に民主的な体育を樹立された献身的努力に對し県民等しく敬意を表する者である。体育技術は勿論のこと体育の本質的使命を探究せられ啓蒙運動に長年月一身を[illegible]げられた爾來四〇年体[illegible]伝統的精神は脈々として不動の信念に生きて居ることの光輝ある縣体育の前身が大正十一年創設された刈羽郡体育協會である。

縣スポーツ史を繙く時在縣体育發祥の地は柏崎と申しても過言でない。陸上競技場、明治神宮競技場より早く建設され日本代表選手は大部分柏崎の地に足跡を残し、縣競技界の源泉地である庭球界に於ても柏陽クラブが本縣最古の歴史を誇り活躍し海の柏崎は水泳發達の基盤を作り、二〇年前北陸に冠たる長水路プールは建造され水泳競技普及に貢献した民衆体育を標榜して体操倶樂部は市民体位の向上に努力し北陸全円に偉大なる實績を収めた。當時市民の体育に對する理解と協力は涙ぐましいものがあり正にスポーツの都は建設されつゝあつた。

かゝる歴史性に立脚して柏崎体育団は存続して居る柏崎の体育が全國に誇るべき理由は、刈羽体育協會創立以來幾多浮動の彈圧と軍閥跳梁時代に於ても不動の信念を堅持し眞理を探究し、体育の正道を歩み続けて來た事であると思ふ。この実績は洲崎会長を始め坂田先生が幾度か表彰を受けられたことが雄辯に立證される、昨年十一月社會体育優良団体として表彰された條件は

1. 体育運動並にレクリエーション活動の活潑な團体であること
2. 団体の有機的活動により健康な市民生活を育成し明朗にしてしかも公正な運動精神を涵養社會の民主化と生活の合理化に顯著な実績をあげている事

が文部社會体育審議會に認められた名譽ある表彰の光榮を担つた訳けである。今日以後愈々其の線に沿つて努力しなければならないと思ふ。表彰文の内容は「柏崎体育団は新潟縣最古の歴史を有し其の活動状況眞摯な態度は縣内体育団の範である。即ち學校体育と社會体育の一体化に留意し民主的体育体系の確立に努力しつゝあり、施設の擴充には全市あげて協力献身し市民運動場學校体育場の整備に大なる実績を擧げて居る」体育団が表彰されることは三万市民が表彰されたことゝで其の意義深きものがある。此の表彰が一時的の名譽に終ることなく、眞実に市民生活より生れた社會体育の振興と健全なレクリエーション運動の發展と相俟ち社會福祉生活保全公衆衛生の向上に依り生活力の强化を企図せねばならない。

ピラミットの頂點にどんな優れた体育思想や技術の花が咲き誇つても其の基底たる大衆の生活力が依然として貧弱で不健康であつたら健全な体育でない。要約すれば

1. 生活を形成創造する体育でなければならない
2. 衣食住の基本生活を確保する福祉体育
3. 自然の中に生み出され活力となり生命力の建設に具現した動的体育
4. 日本の生命力の上に立つた生命体育
5. 生産と耗消、勞働と休養と娯樂のバランス体育

これ等を求めて止まない。幸ひ本市が北陸地方では健康地の要素もあり、スポーツ施設擴充、レクリエーション運動の最適の地で前述の輝しい歴史を残した實績を再現しなければならない本縣は終戦後体育文化は立ち遅れの感あり、横濱、名古屋、大阪、福岡、仙臺、金澤各都市の水準は遙るかに向上し柏崎がスポーツ都市として誇つたのは二〇年前の歴史である。

本縣が氣候不順一年の⅔風雪にさらされ、惠まれない土地に於て縣民二百五十万に對し一個の市民体育館がない現状、各都市とも体育施設は學校に依存し綜合運動場は持つてゐない。用具は依然揃いられてゐない生活力の貧弱な者は運動し度くとも出來ない現状に直面して居る。

我が柏崎に於ては今こそ市民体育館を建設し綜合市民運動場を完成し健康な市民生活を育成し社會の民主化と生活の合理化に邁進しなければならない、柏崎の体育の動きは新潟縣の中心勢力をなして居る縣民に与へる影響又大である。和衷協同團結して柏崎文化創造建設に突入しなければならない。

体育人訪問記

スキーと庭球の 入西信之先生

（田尻小學校長）

鏡里校に居て川合先生と一緒にやりましたこて、安田スキー場でね安田のシャンツェでは私が距離を伸したのでした昭和九年に二十九米跳んだ。無論優勝した。それは東京朝日新聞主催のジャンプ大會には二等になつたが、兎に角懐しい思出ですよ。

此の年、明大の森選手が來場したものでしたがね。彼は三十六米とんで見せた。鮮かでしたね。あのシャンツェでさア。

此のジャンプ大會には必ずリレーを一緒にやつて、長岡の、今では國寳的存在の增田君等も來會したもんだ。增田さんですか?。四十三さう〳〵私より一つ下ですから、四十三ですよ。まだやつてゐますからね。大したもんですよ。

庭球ですか、イや大したものではありませんよあの頃よく教員庭球大會が年々開かれた。確か柏崎日報社の布施線の斡旋でしたね。その大會に出て二等になつた位のもんですだ。

私達は自分もやつたが要は教育者として最も樂しかつたことは、子供がついて來る。それが愉快だ。子供(生徒)を如何に伸すか、それあるのみだ。やる外はない。やれば子供はいくらでも押し寄せてついて來る。いや伸びて來る。子供が悪くてねと云ふのは、自分の無能自分の努力しないことを暴露しているんですよ。イヤこれは〳〵どうも失禮。マアお茶一服。

伊東溫泉 水泳報告書

上野德太郎

日本水泳連盟の日本泳法関係者廿數名は、二月十七八兩日伊豆伊東溫泉プールに集つて、久し振りの泳法研究會を催した。東京は十四日の大雪が未だ残つているというのに、小田原からさきの伊東線の沿線には白いものの跡もみえない伊豆は、やはり想像外の暖さで、驚くほどであつた。

伊東溫泉プールは、室内の長さ廿五米プールで、水深約一米三〇ぐらいで、いまの水溫―水溫という文字が當てはまらない氣がする―約卅四、五度というところである。競泳などの練習をするのには、少し溫度が高すぎるが、中に入つてただボチャ〳〵やつているには、丁度いいころあいでいつまで入つていても嫌にならない。

二日間に亘つて、此処で試みられた日本古流の泳ぎは、水府流(茨城水戸)、水府流太田派(嚴重に言えば東京)、向井流(東京)、野島流(和歌山)、神伝流(津山派と松山派がある)、小堀流(熊本)等であつた。日本古流泳法の流派は、これらの他にまだ多く數えられるが全國的にみて公平なところ水府流(太田派)と神伝流とが最も多く流を追うている者が多い。これは一つには明治、大正年間において、東京帝國大學、第一高等学校(以上神伝流)、東京高等師範學校(水府流太田派)等の水泳關係者に傳えられたものが、この二つの流派であつたことと、當時の指導者級の人々が、多くはこれらの學校の卒業生であつたがためである。

もつとも、京都は武德會―いまはなくなつた―が中心となつていたため小堀流が榮え、大阪地方は、紀伊の野島流、岩倉流、小池流等が多くみられるけれども東京地方においては、やはり水府流(太田派)と神伝流の色が濃い。伊東プールで小堀流(白山源三郎氏―關東學校大学々長)野島流(中尾保氏―大阪濱寺水練学校師範)向井流(筆者)が、各々唯一人の者によつて演技されたことは、右のような事情をあらわしている証明とも言えないことはない。

ここで私の演技について報告をさせてもらう。時間の関係で一人で一技か二技ということにしたので、私は、平搔(ヒラカキ)と邯鄲(カンタン)という向井流独特のものを行つて、集つた皆さんにおみせした。この二つの泳ぎ方はいずれも、もちろんどこの流派にもないもので、また似たような泳ぎも見當らないものである。泳ぎの煽り脚というものは、普通は水面に平行に近いように、兩脚で水を挾んで推進力を得るものであり稀に立泳ぎに使うものであるが、[illegible]は、[illegible]え[illegible]す立煽り[illegible]泳ぎがある。平搔の煽り脚も立煽り脚で、しかも前に開く脚を左右交互にするという、まつたく珍らしいものである水を搔く手も、左右交互に前に出すので、手と脚との運動關係には、二様のやり方がある。

向井流の抜手(ヌキデ)という泳ぎでも、兩脚の使い方は、他の流にはみられないこの立煽り脚を使う。

邯鄲―昨年の夏、神宮水泳場で日米對抗競技の折りエキジビションで私は行つた。數年前には米峯体育人會三、四の方にもみて頂いた――は右脚と右手を仂かし[illegible]泳ぎをとり、左手を水面上に出し、丁[illegible]面に横臥しているような体型をするものである。向井流の泳ぎをみてみると實用的の泳ぎと、華麗なお洒落泳ぎの二通りに分けることができるので、やはり江戸というところに發展したことがよく判るような氣がする。

日本泳法とは縁の遠いような越後の海の人々に、伊東溫泉プールの報告書をおくるのは、いまなお寒い天地を少しで暖く感じさせるためと、向井流の談片を分つたのである。何かの參考にでもなるならばまことに幸甚である。

（二月十九日記）

河童の 横關喜一氏

高田中學

私ですか、水泳でしたよ。それは大正末期から昭和の初年にかけての游泳から競泳への頃で、所謂過渡時代の河童。いや海坊主でした。先生は柏中の小宮先生柿内先生でさア、あの頃はプールなんてないときですから成るべく水の動かない所を尋ねて歩いた、能生の海で、新潟の運河で全新潟浜浦小學校の前の水たまりで、そして劍野山の堤、あれは大橋次郎君が開いたと云つてよい。そこへは随分通いましたね

初めは、あの增田郡長さんから水府流を習つたもんだ。小宮先生時代に競泳へ入つたのでしたがよく吉川源太郎君をキャプテンとして県大會に出場した。悠久山プールにあつた北越新報主催の県選手権大會に一分二十一秒で泳いだ。昭和十七年には神宮大會に出ましたが、これが私の選手としての終幕ですよ、今年も泳ぎたいと思ふが、水泳の規則書はありませんかイネ。あの當時の詳しいことは小宮先生の倅さん今の柏高の越郎先生に聞いて下さい。一緒に泳いだ猛者ですから。

子供と体育

笹川芳三

「子供と体育」の問題を考える時、昨秋、秋田で見た体育の學習指導が思出される。東北ブロック七縣の代表者達によつてほめられたものであるが、近項の學童体育の縮図として記憶されて居たからだ。

それは三年生の指導でマウンテン・マーチによるリズム遊び五十人の子供が六百坪の校庭にしおらしく展開したものだつた。CIEのアンブロース女史のサッゼンションによると聞いて期待していたが事実はぬけがらの人生をほんものと思いこんでいる一人芝居を見る忍耐を三十分强いられた形であつた。その眞意を汲みとり得ない、そして求めることのない鈍重さにアンブロース女史は苦笑されたことだろう。

たしかに三十分はスムースに、全く紙芝居の一枚一枚をすすめるように流れた然し、子供は流れたであろうか。子供の心はどこに流れたのだろうか。三年生という年頃の子供のみに溌溂さが充分に羽ばたいていただろうか。籠の中に入れられた鳥のように自由の世界がないということは、だから時間の終つた後の廊下でのふざけようとなり、教室でのざわめきとなり、廊下にひしめく參観者をぬつて鬼ごつこをしたり、とぶ・はねる・大聲を出すという補償行爲が見えてくる。この頃の子供の運動的適応行動は活動的で、やすみなき活動へかりたてられる筈なのに、此の日、此の時間を事なく済ましたいとのみ願つて子供の顔に無頓着の指導者が多いのではないだろうか。

最初の五分間のスキップでの鬼遊びと最後の數分間のボール渡しリレーの時だけは子供があつた。然しかんじんの主要目的の活動の時、子供に何の感動があつたろうか、固い表情、自分で歩かないでレコードで歩く、それだけだつた。ツマが立派で大切な刺身が食えない代物では困る。

我々は流行で仕事をするのではない。新しい傾向をひやかし半分で物を言うのではない。それは一つの進歩の過程にあると思うからうわつ面を滑るのでなく底にあるものを摑むべきだと言うのだ。現実に子供を見つめて、その上に進歩した技術を用いるのでなければ子供の生命を伸ばすことは出來ないだろう。子供の命を棚上げにするとは困つたとか、淋しいことだとか、物足りないとか言つて済まされることではあるまい。

然し私の言いたいことは子供の成長に応じてその氣持を汲みとつて更に高次なものへ結びつけたいということだけではない。それよりもつと考えたい事は子供の身体性に對する配慮がどう払われているかという事である。

三拍子の歩法によるワルツ遊びが主題であつたわけだが、去勢されたような子供の光のない眼は單に雄物川を吹き渡つて來る冷風のせいばかりではないようだ。東北の子供に多い円背姿勢、膝関節の前出、肩関節の固化、頸椎の不正等が模式的にあらわれているのに、それへの配慮がなされないのはどうしたことだろう。タンバリンを持つて子供の間をピンピンはね廻るだけが指導者の能ではあるまい。「胸をはつて、胸をはつて」と呼びつづけられても習慣性から正常位に於ける筋感覚を失つた者に對して何の効果があろう。筋感覚を呼び戻す方法を與えるべきなのだ。この不幸な身体性に對する処置は念頭にあるなら、ワルツ遊びの最中に數秒を要せずにその都度指導できる事だし、その機會も實に多くあつたが不問に附されてしまつた。下肢に小兒麻痺遺症の残る子供に曇天に響きもしない手をうたせていることも、この子供にこの方法しか残されていないのであろうか。

この子供達に先ず必要なのは胸筋や背部諸筋の正常位に於ける筋感覚を附與することと、關節の可能性をたかめていくことであろう身体の支配性もこれから伸びていくと思う。それが練られないリズム遊びなら何と無意味であろう。[illegible]と主張した[illegible]命を伸ばす[illegible]いうのは奇怪な事と言わねばならぬ。

私は子供といつしよになるまで体育を知らない人間であつた。そして現在も尚知らない人間である。然し「子供と体育」を考える時その指導法は自らが開拓しなければならないものだという事は間違えではないと思う。それは子供を見つめ眞に子供を思う人であるならば誰にでも開けて來る途であるということも過言ではないと思う。

「子供と体育」は子供の生活といつてもよい。ごまかしのきかない世界なのである。運動が出來ても生活態度にきまりがついていないというのはほんとうのものではあるまい。体操するしたくとお使いに行くしたくとは違う。下駄をはいていてよい場合といけない場合もある。そのけじめをつける態度は「子供に與える体育が正しい」ものである時に養われてくるだろう。

NHKの放送プロで「のど自慢演芸會」だけが独自のプランだという貧相を笑う前に、子供のまわりの大人どもは裸の我が身の貧相を知るべきだろう。それができれば、子供より先に大人が走るだろう。子供より先に大人の努力が生れるだろう。

こんこんと湧き出るのは濁水なり。などと、うそぶいている時ではあるまい

スポーツ規則問答

「排球の巻」

一、不当なタイム・アウトの要求とはどんなことか?

二、サイド・コーチ(反則としてとられる)を兩チーム同時に犯した時はどうなるか?

三、ネットの下で相手側コートにあるボールに觸れた場合はどうするか?

四、今後改正されると思われる點は何か?

五、サーブ順を間違ひた時はどうなるか?